

学注全集上

先生の品性を發揮するには、先生の生い立ちの問題が問題である。反戦ヒーローとしての歴史人生のなかで、何が何をかわる問題である。」
「『反戦ヒーロー』としての歴史人生のなかで、何が何をかわる問題である。」

と大正の御誕生日を記念して、御誕生日御祝賀会を開催する事にござります。

たし、学生会は大學生の間でよく理解されない。しかし、このもう一つ國式的なとくら理解するだけではなく、「生やる」という本質的な問題を考えねばならない。現在の社員の大況三

たのは西洋文化の源である。世界を取古といわれるボロニア大学に屬徴される所には、大學は自らの自治を

神界へ隠り、中級官僚の養成を担当マリしたのであった」。

大學圖書館
藏書分類法
卷之二

人間を創る道に大學を設置して貰つた。大學自然の由

ジ斗争は、全国学生連盟における、学生と教員の連帯にかけ、ついで一人の追放者をも出さない強固な斗争として、学生運動が残る斗争であった。六年安保斗争は大学の自治の分配問題における学生運動なら、社会的存在として学生運動に発展へいった。

日本では初めて学生会館の要求が起ったのは三十一年田中、東大教養部においてであった。当時の学生運動の尖鋭化と、大学生の自殺が多かったことと田舎や学校側は学生会館をえた。

明大において、学生会はどのよな役目を持つべきだか。発生形態としては、学費斗争の中から生れたものであるが、明大學生会を中心に学生会設立要求の運動が進んできた。学生

生芸芸特別委員会がその設立の諸問題に対処して来たのであるが、現在的に、学校側は学生一支配の道具化の攻撃を止めない。その事は、尚學生に管理权を与え、自主性をもたらさかそく運動は一定の域を決めて出るものではない。二月十八日(42年)、尚書斗争の終局において、学校側は一方的に学館を封鎖した。これは

宿舎といふ運動史に残つてゐる。生田において、昨年六月に開館されたのであるが、我々学生公館運営委員会は誤せられた仕務は何々。

大學危機の本質は一部学生の主張する、トロントペーパー問題にする事である。明るく東大の大學を主張する事でもない。教育の本質的危機は学生教授の學問的問題であり、人間が

質問用紙

- ・氏名
- ・学年
- ・学年
- ・住所

「生みの」問題にまで深く及んでいる。「史的に学生は専門に权力的支配を意味した暴力に対し、斗つてきた。しかし、教授は学生の教育不満向問題等を正少し、自己の生存の問題へと進んだ。学校側は明確に学生対を確立し、教育問題を学生会館に収納した。学生会館は單なる物と考えられ、我々は存続なし、学生の支配道員化してはならない。逆に現在のマヌスマロ化した中で学生の模索した運動を學生の「生きる」という普遍的問題へと意証化せなければならぬ。

スローガン

- ・二期工事を勝ちとづく。
- ・学館正面を成功させよう。
- ・学館運動を勝ちとづく。